

事業番号	09 03 06	事業改善シート（27年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	水田農業経営確立推進指導事業				担当課	部局	農政部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	農業技術課		
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産			E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp		
					実施期間	H12 ~		

1 事業の概要

目指す姿	○需要に応じた米の計画的生産を行うことにより価格の安定を図り、競争力のある効率的な経営の実現を目指す。			
現状（予算編成時）	○米の供給は過剰傾向が続いており、県内においても国から示される米の生産数量の目標を上回る生産がされている。 ○H25目標面積32,822ha→米の作付面積33,124ha(米の需給調整達成率98.8%)			
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 需要に応じた米づくりを推進する上で地域間や農業者間の調整が必要であり、県を含めて行政機関等の関与が必要。根拠法令：主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律、米政策改革基本要綱		
成果目標・事業内容	① 成果目標（H27）			
	○国の米政策の見直しにより、需要のある転作作物の生産を振興しつつ、行政による生産数量目標の配分に頼らずとも農業者等が自らの経営判断や販売戦略に基づき、需要に応じた米生産ができる状況にしていくこととされたことから、「水田活用の直接支払交付金の支払面積」を目標設定する。			
	② 事業内容 (単位:千円)			
	項目	実施方法	H27事業実績	H27 (当初) 18,798 H27 (決算) 15,404 H28 (当初) 14,676
	水田農業経営確立推進指導事業	補助・直接	市町村における需給調整推進に係る経費の補助（農業者間の調整、転作作物の試験栽培、飼料用米等新規需要米の需要拡大等の活動）	
			合計	18,798 15,404 14,676

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
	前年度繰越				
	当初予算	21,377	19,212	18,798	14,676
	補正予算				
	合計(A)	21,377	19,212	18,798	14,676
	一般財源	21,377	19,212	18,798	14,676
	県債				
	国庫支出金				
	その他	0	0	0	0
	決算額(B)	18,164	18,290	15,404	
概算職員数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	
概算人件費	8,258	8,258	8,276	8,276	
概算人件費(C)					
概算事業費(B(A)+C)	26,422	26,548	23,680	22,952	

成果目標の達成状況					
項目	H26末(実績)	H27			H28目標
		目標	成果	達成状況	
水田活用の直接支払交付金支払面積(ha)	9,937ha	10,760ha	10,172ha	未達成	10,932ha

目標に対する成果の状況	27年度の水田活用の直接支払交付金支払面積は10,172haで、26年度実績を上回った(102.4%)ものの、目標達成には至らなかった。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 米の計画的な生産により、水稻農家の経営安定が図られるよう引き続き事業推進する。
--------------------	--